

千早駅前早期に「文化コミュニティー施設」を!

日本共産党

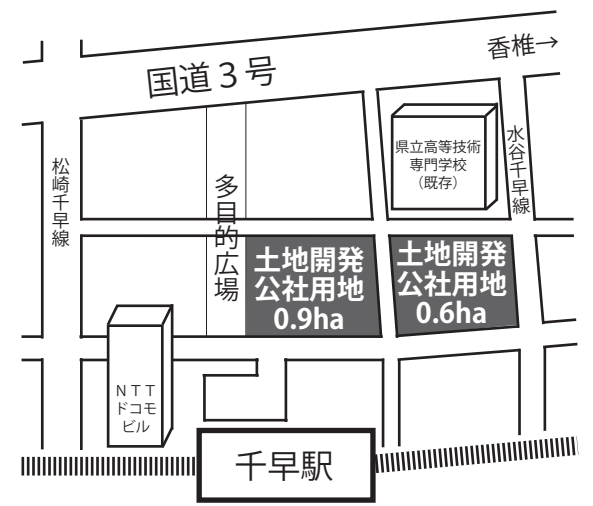
福岡市が用地確保し、一歩前進

福岡市が千早駅前市有地を確保するため、二〇〇八年度予算案に「香椎副都心公共施設検討」として二十二億円を盛り込んだことがわかりました。市は東市民センターを移設したうえで多機能型の施設をつくることを明らかにしています。

13年来の運動が力に

香椎操車場跡地の土地区画整理事業が始まって以来、東区住民から「跡地にホールや会議室を備えた総合文化施設・市民が集えるコミュニティーセンターをつくってほしい」という声があり、議会請願の署名運動が起こり、二万

六千余筆が集まりました。日本共産党も対市交渉などいっしょにがんばってきました。こうした運動と世論がついに市を動かす、新しい施設ができる方向へ動き出しました。



**図書館、児童館、ホールなど
東区住民の要望を取り入れて**

新しい施設は、住民の要望を反映し、誰もが気軽に集うことのできるセンターにすることが大切です。

日本共産党は、市に対して、ホールや図書館、児童館など住民の要望を反映させた「文化コミュニティ施設」をつくるよう繰り返し要求しています。



市が購入予定の土地
(奥が千早駅)

福岡市議会ニュース
1025号 2008年3月
<議会報告>
日本共産党福岡市議団
福岡市中央区天神1-8-1
電話 711-4734
FAX 741-4627
www.jcp-fukuoka.jp
ご意見をお寄せください

住民の要望は…

(新日本婦人の会のアンケート結果より)
複数回答可

- **図書館 58%** 「ゆったりできるスペースで、子どもおとなも憩える空間」
- **児童館 50%** 「未来の子どもたちが自由に遊べ、学習室を備えた居場所」
- **大ホール 56%** 小ホール **51%** 「単に多目的という施設でなく生の演劇、演奏が楽しめるホールを」
- **会議室 41%** 「年金生活者もゆっくり楽しめる交流スペースがほしい」
- その他 「料金を安くして、誰でも利用しやすいように」

日本共産党も参加する「千早駅前文化コミュニティー施設を早期につくる会」の署名にご協力ください。